ライブ「見なきゃ♥損！」台本

**Ｍ→曲**

**ＭＥ→効果音的なピアノ**

スクリーンがモノクロの福原さんの映像にかわる

ピアニストスタンバイ

照明が客席暗くなる

ピアノ**ＭＥ１**入る(天空から天女が降りてくるような優しいＭＥ)

３０秒ぐらいしたら江川登場。

客席を背にしてスクリーンを見つめる

江川とピアニストのアイコンタクトで**ＭＥ１からＭ１**の「あなたに逢いたくて」の曲になり、歌のサビのところを語る様に歌う

サビが終わったあたりでピアノ**Ｍ２**「君は薔薇より美しい」の前奏にチェンジ

華やかな感じの前奏

前奏で折井・天音登場するので、前奏は少し長めに

江川・折井・天音の３人で歌う

マイクスタンドで歌うので、少し手振り程度のダンス入る

曲は１コーラスぐらいで

Ｍ２終わる

ＭＣ〈江川〉フリートークでお願いします

「こんばんは、今日はお忙しい観に来て頂きありがとうございます。２人の若手に囲まれてオープニングは○○という曲をお届けいたしました。今日は１１月２２日、いい夫婦の日です、そこでゲストに９０才の現役の役者、福原秀雄さんに奥様との思いでを語りながら歌と語りとダンスのショーをお楽しみください。拍手で福原さんを迎えましょう」

福原登場　江川・折井・天音はける

福原

「こんばんは福原秀雄です。今日は役者の独り言だと思って最後までお付き合いください。私は大学を卒業してすぐに俳優座という劇団の演出部として入団いたしました。もともと役者になんかなるつもりはなくて、演出家を目指していたんですよ。だって演出家ってもてそうじゃないですか、綺麗な女優さんに囲まれて夢のような日々を送りたいと思ったのですが、現実は厳しくて、人手不足でかぶり物で馬の役をやらされたり、そのうち役者が足りなくなって役者をやる事になっていったんですよ、劇団なんてのは人使いが荒いんですから、そうそう、今日はこんな話ではなかったですよね、いい夫婦の日ってな訳で女房の話でしたね、、、、、照れますねぇ、、、、、女房の知江子とは見合いだったんですよ、、、〈**Ｍ３**入る(ある愛の歌みたいなのでバラード)Ｍ３は下記のナレーションの台詞の中ずっとはいっています〉

知江子は銀座生まれの銀座育ち、銀座小町と呼ばれる程の美人でした」

Ｍ３が入ってきたら折井・天音登場、福原はステージ下手横の椅子に腰かける。

ナレーターの磯崎はインカムで台詞を言う予定ですので、ステージにはいません

音響のブースで喋ります。

Ｍ３はダンスと台詞なので、ピアノはなるべくゆっくり弾いて頂きたいです

（以下の台詞は磯崎が喋る）

福原

「では、その時の様子をダンスとナレーション再現しましょう。〈折井をみて〉わたしゃ、若ハゲだったんで、すでにハゲとったんだわ〈と言いながら折井にハゲのカツラを渡す〉」

福原はける〈ピアノ横に椅子をおいておくので椅子に腰かけて２人のダンスを楽しそうに見ている〉

ダンスとナレーションの見合いシーン

知江子

「ガーン」

秀雄

「秀雄です！秀才の秀と雄と書いて秀雄です！」

知江子

「ガーン！ハゲてる。。。」

秀雄

「秀雄です！今日は良く晴れて見合い日和ですねぇ」

知江子

「ガーン。。。会話のセンスもない」

秀雄

「知江子さん、、、顔色がよくありませんが大丈夫ですか？」

知江子

「ハゲといて顔色が良くなる訳ないだろ、、、アホかこいつ」

秀雄

「見てごらんなさい！綺麗な雲ですよ！まるであなたの様だ！」

知江子

「雲と一緒にすんなよ！アタシは銀座小町って呼ばれてんだよ、ハゲの相手してる暇はないいんだよ」

秀雄

「僕たちが出会ったのはきっと運命ですね」

知江子

「運命なんて、そんなものある訳ありませんわ」

秀雄

「いや、運命です！結婚する運命なんです！」

知江子

「アタシは慶応ボーイと付き合ってるのよ、あなたみたいな日大なんて大学はダサダサだわ」

秀雄

「人間は学歴なんて関係ない、大切なのは心」

知江子

「はぁ？」

秀雄

「それに、ハゲは癌にならないって統計にでてるんですよ！」

知江子

「ガーン」

秀雄

「秀雄です！秀才の秀に雄と書いて秀雄！さあ、これからの僕らの未来にむかって走りだしましょう！」

知江子

「はいはい〈あきれはてて〉」

秀雄は知江子の手をひいてはける

（ピアノは２人がはけるまで弾いて下さい）

２人がはけて、ピアノが終わったら福原下手椅子より立ってステージ真ん中へ行く

福原

「知江子は親に逆らえず嫌々私と結婚したんですがね、それでも新婚時代は楽しく過ごしましたよ、子供も男の子と女の子を授かりました。長男の左千夫はイケメンで皆に可愛がられましたが、長女の亜矢子は猿みたいに不細工で娘の顔をみて私は思わずアジャパーと叫んでしまいました。。。アジャパーはアジャコになって亜矢子という名前になった訳ですよ。トホホ、、、、、」

**Ｍ４**の前奏入る(こんにちは赤ちゃん)福原は椅子に戻り江川がステージにぬいぐるみの赤ちゃんを抱いてエプロンをして登場（福原が椅子に座るのと、江川の登場があるので前奏を少し長めに）

歌詞は替え歌で

歌詞

こんにちは　　　　亜矢ちゃん

お顔は　　　　　　お猿さん

こんにちは　　　　亜矢ちゃん

夜泣きも　　　　　ひどい

あなたはパパに　　そっくりなのねぇ

いじけないで

育って　ほ・し・い

間奏に台詞(間奏は台詞が入るので同じ旋律を繰り返し弾いてもらって、台詞が終わったら歌手との呼吸で歌に入る)

★どうしてパパに似ちゃったんでしょう

私に似れば綺麗だったのにね

おじいちゃんもおばあちゃんも不細工なあなたを抱っこしようともしないのね

隣のおばさんでさえ、あなたを抱っこしてると近付いてこないものね

でも大丈夫よ

女は愛嬌！

いつもニコニコしていなさいね

きっと幸せになれるわよ★

サビから歌

この小さな手

つぶらな瞳

はじめまして

私がママよ

Ｍ４歌終わりで福原ステージに登場。

江川と福原は仲良く手をつなぐ

福原

不細工で出来の悪い娘ですが、出来の悪い子ほど可愛いもんです

私の独り言は又後でお話しいたしましょう

江川・福原

しばし、時を忘れて楽しい歌とダンスをお楽しみ下さい

福原・江川去る（ここは福原も江川と一緒に楽屋にはける）入れ替わりで折井登場〈楽屋にはける〉

折井ＭＣで少し喋る

**Ｍ５**「ショーほど素敵な商売はない」

**Ｍ６**「　　　　　　　　　　　　　」

歌終わりで折井ＭＣで天音を呼ぶ

天音登場、折井がはけようとするところを天音が折井をつかまえる

**Ｍ７**「恋のフーガ」前奏入る

Ｍ７は折井を逃がすものかとの感じで２人のからみあり

曲は短めで(１コーラス程度で)

曲終わりまでに何とか折井は天音から逃げてはける

Ｍ７終わって天音少しＭＣで喋ってＭ８へ

**Ｍ８**「　　　　　　　　　　　　　」

Ｍ８終わりで天音が江川を紹介して江川がステージに登場

天音ははける

江川ＭＣ

**Ｍ９**「　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

**Ｍ１０**「　　　　　　　　　　　　　　　　　」

Ｍ１０終わりでの江川のＭＣ

江川

「ではショーのラストはダンスナンバーをお贈りいたします」

**Ｍ１１**ダンスナンバーの曲がＣＤで入る

〈２ステージめは、ここでサプライズスタッフ関根さんの還暦のお祝いの歌あり。これは要相談〉

江川はける折井・天音入れ替わりで登場

Ｍ１１終わりで折井・天音はける

２人がはけきったところでピアノ**ＭＥ２**(雨がポツリポツリと降っている様なイメージで)

少しの間はピアノだけ(２０秒ぐらい)

福原がステージにゆっくり登場する。ピアノは福原が喋りだしたら、自然に消える

福原

「素晴らしいショーでしたね、楽しいショーの後は私の独り言にお付き合いください、、、、ちょっと暗い話になってしまいますが勘弁を、、、私は役者としては不器用であまり仕事もなくて生活は大変でした、知江子は生活を支える為に働きづめで、だんだん夫婦の間には溝が出来、金の事で喧嘩が絶えませんでした

、、、、私は自分の情けなさが耐えられなく、、、知江子に手紙を残し家を出をしました、、、、」

手紙をポケットから出し

福原

「知江子へ、、、、、突然ですが家を出ます、私が役者としてふがいないために苦労をかけてすまん、、、何とかしなければとガードマンや友達の会社の手伝いもしてみたが、、、、私には役者しか出来ないのだと思う、この家には私の居場所はない、、、、子供達の事よろしくたのむ」

**Ｍ１２**「旅立ち」の前奏入る

この前奏で福原は下手椅子へ座り、折井・天音ステージに出て来るので長めの前奏で

折井・天音が背を向けてたったらＭ１１歌いだし

Ｍ１２は後奏の中で折井・天音はけると入れ替わりに福原ステージ中央へ行き顔を上げ空を見つめている

ピアノの後奏はまだエンドレスな感じで続いている

福原、決心したようにピアニストのところに行き、ピアノを弾くのをやめてもらう様に頼む。

ピアニストは？な感じでピアノを弾くのをやめる

福原お客様に深々とおじぎをする

福原

「こんな素敵な歌を歌ってもらって、、、言いにくいのですが、、、、私の家出はなんと、、、たったの１週間、、、丁度クリスマスだったので、安いクリスマスケーキを買い家に帰りました、、、、おそるおそる家に入ると、、、、知江子が明るい声で、あら、随分早かったのね、寒いから中に入ったら、、、、と、子供達もニコニコして嬉しそうにケーキだケーキだと喜んで安いケーキを美味しそうにほうばって食べてくれました、それからは、知江子はあまり怒らなくなり金にならない舞台の仕事をやっても文句を言わなくなり、差し入れを持って楽屋にも来てくれるようになりました。私の代わりに必死で家族を守る為に働いてくれました、もともと体は丈夫ではなかったので入退院を繰り返し６７才で天国へと召されていきました、、、、」

ピア**ノＭＥ１のと同じの**が入ってくる、このＭＥ１の中で江川登場、福原は江川と入れ違いではける

ＭＥ１の中で江川は台詞を喋る

江川

「秀才の秀に雄と書いて秀雄さん、あなたには本当に苦労かけられたわ、一つだけ言いたい事があるんだけど、私があなたのつまらない芝居を観に行ったのは、あなたの芝居を観たかったんじゃあないんですよ、芝居が終わって楽屋に行くと、福原さんの奥さんてすごい綺麗ですね、こんな綺麗な奥さんだとは思いませんでした、羨ましいですねって言われるのが嬉しくて芝居を観にいったのよ、念入りに化粧をして楽屋に行ったわ、だって私は銀座小町と呼ばれた女ですもの、さすがに天国からは芝居は観にいけないけど、下手な芝居も段々とさまになってきたんじゃあないかしら、随分と長生きしてるけど、お迎えが来るまで好きな芝居が出来るといいわね、神様に頼んでおいてあげるわね」

台詞終わりで**Ｍ１３**「夢倉庫」の前奏に変わっていく

夢倉庫の途中よりアレンジがラテンぽくなってきて折井・天音が歌に加わり３人で歌う

曲終わりで出演者全員出てきてメンバー紹介

ＥＮＤ